

FEATURE

捨てればロス、つなげば希望

フードバンク滋賀 副代表 中村勝人さん(57歳)

あなたの家の冷蔵庫、奥のほうに忘れられている食品は眠っていませんか。そして、それは消費期限が迫っていたりしてませんか。食べ残しや売れ残り、期限が近いといった理由で、まだ食べられるのに捨てられてしまう“食品ロス”は年間約600万トン。これ、国民一人が毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てている量なんだとか。(農水省・H29)

そんな一方で、貧困など様々な理由で明日食べるものにも困る人がたくさんいる現実があります。市場で消費されなかった食品が、“食品ロス”になってしまう前に必要な家庭に届ける「フードバンク滋賀」の活動に注目です。



消費されない食品たち

品質に問題がないのに消費されない食品がある一方で、食べる物に困っている人がいる。なんとも不条理な話ですが現実です。この両極にある2つの問題をつなぎ、どちらも解消に向けていく活動がフードバンクです。話としてはシンプルですが、実際の運営となると大変です。

フードバンク滋賀の活動は週2回。まずは食品を集めることから始まります。スーパーやパン屋さんなど定期的に食品を提供してくれるお店に朝から手分けして引き取りに行きます。賞味消費期限が近づいた野菜果物パンなどが中心なので、午後にはもう配らなくてはなりません。

また、個人の家庭からは缶詰・スナック菓子・シリアル・乾麺などが、お寺さんや農家などからはお米が、企業からは非常用に備蓄されていた水など、ネットなどで活動を知った多くの人から提供いただきます。コロナの影響で、観光地で売られるはずだった土産品なんかもあったりか。

「スーパーなどでは印字ミス

やパッケージの破損といった理由で市場に出せなかった食品を提供いただきます。もちろん食品自体に何の問題もありません。また、5本入りの茄子の袋があつて、たまたま1本だけが傷んでいても、これまた店頭には出せません。その1本だけを入れ替えればとも思いますが、かえって手間がかかるし、処分するにもコストがかかります。こうした食品が私たちの届きません」

見えにくい問題

食品が集められると、いよいよ配達です。食品を届ける家庭

は湖南地域を中心に、なんと彦根や長浜までと広範囲にわたるとか。「軒分ずつ小分けするのかもしれない、引き取りに行つた車から配達車に直接積み替えます。「大根あるよ」「○○さんの好物だからもらつていく」「パン、そつちまだ残ってる？」手際よい作業と情報交換。気づけば、どの車も後部座席だけでは収まらず助手席まで食品が埋めつくしています。すぐにそれぞれが担当する家庭へと向かいました。そつ、時間との闘いでもあるのです。

「今の届け先は約60世帯。これを水士曜に分けて週に二回、



3〜4人のメンバーが自家用車で届けます。食べるものにも困つてしまう状況の皆さんですから、一軒一軒が特別な事情を抱えています。貧困・雇止め・DV…。理由は様々ですが、どれもデリケートで深い部分に入り込んでしまう問題で、表には見えてきません。身近な人であつても、なかなか気づくのは難しいでしょう。きつと食糧の支援を必要としている人たちはまだまだおられるはずですよ」と中村さん。

では今、支援を受けている人たちは、この活動をどのように知つたのでしょうか。「SNSなどで私たちの活動を知つて直接連絡をくれる人があります。あとは社会福祉協議会や相談されている法律事務所などからの紹介も多いですね。どの方も、我慢に我慢を重ねたギリギリの生活で、ここにたどりつかれます」

私、卒業します

「それでも、依頼があればすぐに支援を始めるわけではありません。電話で事情を聞き、まずは一度だけお届けします。実際にお会いし、暮らしぶりを確認してから支援を継続するかどうかの判断

をします。夫の暴力が原因で対人恐怖症になった女性がいました。彼女は深く心を閉ざし、お伺いしても会話らしい会話はありません。私たちも事情を知っているのに食品を黙々と届けるだけ。彼女が自ら話しかけてくれるまで1年かかりました」

施設や子ども食堂などに食品を届けるフードバンクの団体もあります。一軒一軒、家庭を訪問しての手渡しです。それは、施設に行く力すらない人や「助けて」と声を上げられない人を支援したいの思いから。訪問時の会話や生活ぶりから、必要があれば医療につないだり、届けた際に引越したり子どもの進路など込み入った相談を受けることもあるとか。手渡すことでさりげない見守りになつていくのですね。



「ようやく働く先が決まりました。やつと支援から卒業できそうです」。利用者が今の状況から脱して自分の力で生活できる。卒業宣言をしてくれた時が何よりうれしいと中村さん。食べ物にまさに生きる力、明日への糧。

フードバンク滋賀は食品を届けながら「あなたをいつも見守っています」と今日もメールを送ります。



フードバンク滋賀 ボランティアスタッフ大募集!

フードバンク滋賀では、NPO法人化を目指し、ボランティアスタッフを募集しています。ドライバー大歓迎。運転ができなくても食品の仕分けや記録のサポート、経理やパソコンに強い方もお待ちしております!

フードバンク滋賀 一般社団法人 全国フードバンク推進協議会加盟団体
草津市東草津1-2-35 草津地域福祉事務所 みんなの家 気付
☑ foodbankshiga@gmail.com
☎ 080-3804-4425 (代表 太田)
📍 「フードバンク滋賀」で検索

写真: 大條純史 (編集ボランティア)